

# 平成30(2018)年度事業報告

事業項目	事業名	事業の概要	平成30年度 事業実施結果	
1 国際交流・協力の促進に資する事業			上半期の事業実施結果	下半期の事業実施結果
(1) 国際交流の理解促進事業	アイハウス日本文化理解・交流サロン<拡充>	外国人を対象に、修行体験、豆腐づくり教室、茶道体験など、日本の文化や習慣について体験できる講座を開催した。あわせて、日本人と外国人の相互理解を深めるため、外国人と日本人と一緒に交流しながら日本文化にふれるイベントを開催した。また、グローバルな社会で活躍する人材育成事業として、日本の中学・高校生を対象に日本の文化を理解し、英語で伝える力を身につける「中・高生のための伝える和 문화～Share Japan～」を開催した。	ア 文化サロン:①修行(5/13:27人) ②お弁当(6/17:20人) ③豆腐(7/16:16人) イ 中・高生のための伝える和 문화～Share Japan～:①殺陣(8/5:24人)②和装(8/19:22人)③和菓子(9/2:25人)	ア 文化サロン:白味噌(10/8:15人)、茶道(11/16:20人)、門松(12/16)、苔玉(2/3)、飾り巻寿司(3/3) イ 中高生のための伝える和 문화～Share Japan～:④和食(10/14:18人)⑤けん玉(11/25)⑥プレゼン法(12/2、12/16)
(2) 国際協力の理解促進事業	ワン・ワールド・フェスティバル	市民を対象に、国際協力や多文化共生等に取り組む国連機関、政府機関をはじめ、NGO・NPO、企業、教育機関等が活動紹介するとともに、国際協力をテーマとした講演やワークショップ、民族音楽のステージ、民族料理店など、さまざまなプログラムにより国際協力や多文化共生への理解と参加促進を図るフェスティバルに出展参加した。		ワン・ワールド・フェスティバル(2/2～3)にブース出展
	国際協力ひろば	(独)国際協力機構関西センター(JICA関西)との共催で、「国際協力」について広く市民に知ってもらふ機会とするため、セネガルで活動する団体からの活動報告及びセネガルの文化紹介、チョコレートを題材にしたワークショップなど、子どもから大人まで気軽に参加してもらえる体験型イベントを実施した。	「テランガの国、セネガル！」(5/27:50人)	「もっと知ろう国際協力」(10/6:20人)
	JICA情報発信業務	独立行政法人国際協力機構関西国際センター(JICA関西)が実施する「情報発信業務に係る業務」を受託し、JICAに関する問い合わせに対する対応やJICA関連資料の配架・保管等を行った。	JICAへの問い合わせに関する対応件数(4月～9月)16件	JICAへの問い合わせに関する対応件数(10月～3月)23件
(3) 市民レベルの相互交流事業	アイハウス・カルチャーセンター	英語を通して何かを身につけたいと思っている人を対象に、ヨガを楽しみながら同時に英語にも親しむことができる機会を提供し、広く「ヨガ」の文化を知り、体験してもらった。また、語学に親しんでもらうために、中国語サロン、韓国語交流サロンを開催した。	ア English Yoga(春季(のべ157人)、夏季(のべ82人) 木・土開催) イ 語学サロン ・中国語サロン～中国語で茶話会～(7/22:11人、7/29:7人、9/22:8人、9/29:10人)	ア English Yoga(秋季(のべ91人)、冬季(のべ57人)、2019 木・土開催) イ 語学サロン ・韓国語交流サロン(2/15:13人、2/17:11人)
	訪日国際交流団体の大阪招へい	イギリスの高校生の訪日団の受け入れを行い、日本文化の理解や市民との交流の場を提供した。10日間受け入れを行い、市内の中学・高校等での交流プログラムのほか、ボランティア宅にてホームステイを実施するなど、大阪・関西におけるプログラムのコーディネートを行った。また、外務省が実施する対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」(つなぐ～守る・育む～伝える～届ける)をテーマに韓国人大学生の受け入れを行い、日本文化の体験、大学訪問・交流、ホームステイ、日韓大学生共同プログラム等を実施するなど、大阪・関西におけるプログラムのコーディネートを行った。	イ 対日理解促進交流プログラム(JENESYS)(公財)日韓文化交流基金へ公募6月内定参加者募集開始、選考・面接(応募者159名)	ア 日本体験スタディツアー2018 英国高校生受入(高校生12名 引率3名)(10月26日～11月2日 8日間)受入 イ 対日理解促進交流プログラム(JENESYS) 韓国大学生受入(大学生18名 引率2名)(11月2日～11日 10日間)受入
2 外国人が暮らしやすい地域づくりに資する事業			上半期の事業実施結果	下半期の事業実施結果
(1) 多言語による専門相談通訳支援事業	外国人のための「一日インフォメーションサービス」	外国人を対象に、法律や医療、在留資格等、外国人の生活に関わる様々な分野の21の専門機関・団体が定期的に意見交換を行うとともに、協働で無料相談会を実施し、多言語(10ヵ国語)での情報提供・相談を行った。	・第1回連絡会議(5/17) 第2回連絡会議(6/28) ・「外国人のための一日インフォメーションサービス」(7/8) 参加者数:75人(来場64件、電話11件)、相談件数 119件	第3回連絡会議(10/31)、第4回連絡会議(1/28)
(2) 多言語による情報提供・行政関係機関窓口通訳翻訳支援事業	「大阪市立住まい情報センター」簡易通訳業務	外国人を対象に、大阪市立住まい情報センターの窓口や電話での問い合わせ等について、多言語での通訳を実施した。(英語、中国語、韓国・朝鮮語)	3言語によるトリオフオン通訳 通年実施	3言語によるトリオフオン通訳 通年実施
	「大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館」簡易通訳業務	外国人を対象に、大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館の窓口や電話での問い合わせ等について、多言語での通訳を実施した。(英語、中国語、韓国・朝鮮語)	3言語によるトリオフオン通訳 通年実施	3言語によるトリオフオン通訳 通年実施
	「大阪市住宅供給公社市営住宅管理」簡易通訳業務	外国人を対象に、大阪市住宅供給公社住宅管理センターの窓口や電話での問い合わせ等について、多言語での通訳を実施した。(中国語、韓国・朝鮮語)	3言語によるトリオフオン通訳 通年実施	3言語によるトリオフオン通訳 通年実施
	外国人向け情報の多言語翻訳支援と情報発信事業	外国人を対象にした各区役所をはじめとする関係部局からの国際交流の取り組み等の情報を収集し、多言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語)翻訳し区役所支援を行うとともに、当財団の広報媒体を通じて市民に情報発信する取り組みを行った。	各区役所等からの依頼に基づいて翻訳支援	各区役所等からの依頼に基づいて翻訳支援
	外国人住民向けテーマ別行政情報伝達事業(新規)	保育所に通う外国籍児童の保護者を対象に相談会を開催し、日ごろの悩みや保育所の仕組みで分からないことなどについて、通訳配置のもと相談できる場を設けた。また、保護者向け説明会への通訳派遣や、保育所入所時に保護者に記入してもらった書類を、英・中・韓・ベトナムの4言語に翻訳し、提供した。	関係部局との打ち合わせ(7/31、8/30)	・外国籍児童支援に係る相談会(大阪市立浪速第1保育所)英・中・韓 通訳派遣 ・保護者向け説明会(大阪市立日東幼稚園)中国語通訳派遣
(3) 日本語学習支援事業	外国人ふれあいサロン	外国人を対象に、登録ボランティアの運営・指導により1対1で日本語会話を楽しみながら、語学の習得と相互交流のための場を提供した。	・原則月4回毎週土曜日開催 ・ボランティアスキルアップ研修会 第1回(9/9)	継続実施 ・ボランティアスキルアップ研修会 第2回(10/28) 外国人:のべ1,126名 ボランティア:のべ1,149名
	たのしい日本語	外国人を対象に、日本語教師の資格を有する登録ボランティアによるクラス形式の日本語学習講座を実施した。	年3クール 火(2クラス) 水(2クラス)	継続実施 ・ボランティア研修(10/14、21) 外国人:のべ1,070名 ボランティア:のべ429名

# 平成30(2018)年度事業報告

事業項目	事業名	事業の概要	平成30年度 事業実施結果	
(3)日本語学習支援事業	未就学・ダイレクト向け日本語・学習支援 <拡充>	「外国にルーツを持つ子ども」を対象に、登録ボランティアの協力を得て、日常生活や高校進学に必要な日本語と教科の学習支援を行う「こどもひろば」を実施した。あわせて、外国にルーツを持つ就学前の子どもを対象に、小学校入学直前の時期に小学校での学習に必要な、日本語や日本の学校生活について学ぶ「プレスクール」を開催した。こどもひろばでは、交流イベントとして、高校生勉強会参加者・こどもひろばOB、OGが、他の教室・高校等で学ぶ外国にルーツを持つ子どもと出会い、交流する機会も提供した。	ア こどもひろば:毎週月曜(補習は7月以降の毎週木曜)開催、高校生勉強会 毎週木曜	ア こどもひろば 継続実施 こどもひろば 高校生交流会(12/27、3/1) イ 外国にルーツをもつこどものためのプレスクール 南小学校・平野小学校にて各会場全5回 (1/26、2/2、2/9、2/16、2/23 のべ78名) ウ 外国にルーツをもつ未就学児童のための日本語学習支援ボランティア養成講座 (10/4、10/11、10/18、10/25 のべ71名)
	生活日本語コース運営事業	外国人を対象に、独立行政法人日本学生支援機構大阪日本語教育センターとの共催により生活日本語コースを実施し、専門の日本語教師により体系的な日本語学習指導を行った。	春コース(4/23-7/13) 秋コース(8/21-11/9)	冬コース(11/26-3/1) 外国人:のべ234名
	日曜にほんごサロン(新規)	参加者とボランティアが日本語をツールとして交流し、区役所、学校の手紙の読み方など、日本語に関わる生活面のサポートも行う。外国人ボランティアが新規来日の外国人に母語で日本語を教えたり、自身の経験を共有し、日本人ボランティアと協働して教室を運営した。	・ボランティア養成講座(8/19、8/25) ・9月～ 原則毎週日曜11:00～12:30、14:00～15:30	・ボランティア中間研修(11/18) ・1月以降は14:00～15:30 (毎月第3日曜は11:00～12:30も開催) 外国人:のべ322名 ボランティア:のべ515名
(4)多文化共生環境整備事業	災害時における外国人支援ネットワーク整備事業	大阪北部地震において、災害多言語支援センターを設置し、多言語による情報発信、相談対応を行った。また、外国人対象の防災教室や、災害時通訳・翻訳ボランティア説明会・登録会を行うとともに近畿の地域国際化協会8団体で構成する「災害時における外国人支援ネットワーク近畿ブロック研究会」への参加や共催研修を実施した。	ア 災害時における外国人支援ネットワーク ・災害多言語支援センター設置(6/18～6/23) ・近畿地域国際化協会連絡協議会研究会 第1回(6/26)、第2回(9/20) ・近畿地域国際化協会連絡協議会総会(7/26)	ア 災害時における外国人支援ネットワーク ・近畿地域国際化協会連絡協議会研究会 第3回(11/29)、第4回(3/7)開催 ・災害多言語支援センターHP開設(11月) ・近畿地域国際化協会連絡協議会共催研修(2/1) ・外国人のための防災教室(3/2:18名) イ 災害時における通訳・翻訳ボランティア ・災害時通訳・翻訳ボランティア説明会・登録会 (3/2:15名)
	国際学校支援市民募金事業	市民や企業等からの寄付金による「大阪国際学校支援市民募金」(平成13年9月設置)の寄付金収入により、大阪国際学校で学ぶ児童・生徒への奨学金の支給を行っているが、今年度の申請はなかった。	支給実績なし	支給実績なし
	外国人コミュニティ連携事業	多文化共生社会の実現に向けた課題について取り組むため、有識者による会議を行い、国際交流イベントの円滑な運営やプラットフォーム(ウェブサイト)の構築に向けて議論を行った。また、外国人コミュニティ連携事業委員会の5年間の歩みの振り返りやプラットフォームの基本システムの紹介をする外国人コミュニティ連携事業プラットフォーム発表イベント「みんなでつくろう!多文化共生のまち・Osaka」を開催した。	ア 外国人コミュニティ連携事業委員会 コミュニティ連携事業委員会開催 (4/12、6/22、8/31) ウ アイハウス外国人コミッティ 外国人コミッティ開催(4/14、8/18)	ア 外国人コミュニティ連携事業委員会 コミュニティ連携事業委員会開催 (10/29、12/14、1/28、3/25) イ アイハウス外国人コミュニティ連携事業プラットフォーム発表イベント 「みんなでつくろう!多文化共生のまち・Osaka」 (2/24:46名)
	多文化共生社会を担う外国人住民サポート事業	留学生をはじめ外国人住民が自国の文化を紹介するプログラムを実施し、地域住民との相互交流を深める場を提供した。また、外国人とサポートする日本人との協働により、プログラムを実施するまでの過程を重視し、外国人と日本人の交流を深めることができる機会とした。	アイハウスde多文化体験(8/11) 31プログラム実施 (参加者のべ681人/プログラム提供者36人/ボランティア・サポーター47名/インターン6名)	
(5)外国人留学生への支援事業	賃貸住宅提供	国の「特定目的借上公共賃貸住宅制度」を活用し、留学生向け宿舍の運営管理として、留学生の入居募集や受付、家賃収納等を行い、留学生に対し宿舍の提供を行った。(単身型48戸、世帯型6戸)	・留学生寮の管理 ・防犯教室・懇親会(6/28:23人) ・関係部局、団体との打ち合わせ(6/6) ・避難訓練・懇親会(9/9:11人)	・平成31年度入居者抽選会(1/24)・契約会(2/28)
	留学生支援市民募金	広く市民、企業等からの寄付を元に、冠奨学金の支給や、大阪府内の文化施設や文化事業への招待を行った。	・冠奨学金:公募・選考・決定 ・特別入場証:作成・配布 交付数:府内22,693名(うち大阪市内校14,566名) ・文化事業招待(文楽等)	・奨学金支給 ・文化事業招待(大フィル等随時) 参加者数:のべ1,027名
	留学生情報HPの作成及び運営(新規)	留学生を対象に、大阪市や当財団、他の関係団体等が提供するボランティア活動等の情報や、留学生と市民が協働、交流できる情報など、留学生にとって有益な情報発信を行った。	・留学生向けHPを作成 ・定期的にメールマガジンを配信	・留学生に有益な情報の掲載 ・定期的にメールマガジンを配信
(6)外国人観光客誘客支援事業	インターナショナルタクシー推進支援事業	大阪におけるインターナショナルタクシー制度の基盤づくりの支援を行うとともに、制度普及に向けた語学サポートを行った。	・英語講座(7/19 2回開催:のべ9名)	・中国語講座(10/16 2回開催:のべ4名) ・韓国語講座(10/16 2回開催:のべ4名) ・英語講座(11/22)
	語学出前講座	(公財)大阪タクシーセンター他外国人を対象に活動する団体等に対して、外国人とのコミュニケーション力を高めるための一助となる各国文化の理解と語学指導を組み合わせた派遣型講座を実施した。	ア 外国語講座 英語 初級編(9/25:12名) 中国語(6/12:5名)、韓国語(7/24:1名) イ インターナショナルタクシー認定語学講座 英語 (7/31:15名)	ア 外国語講座 英語 実践編(10/23:8名) イ インターナショナルタクシー認定語学講座 英語 (11/22) 中国語(10/30:9名) 韓国語(10/30:3名)

# 平成30(2018)年度事業報告

事業項目	事業名	事業の概要	平成30年度 事業実施結果	
			上半期の事業実施結果	下半期の事業実施結果
<b>3 国際化の担い手の育成に資する事業</b>				
(1) 国際化を担う人材の育成事業	地域の国際化人材養成講座	「外国人支援とやさしい日本語」をテーマに、前半では、大阪を中心とする関西の外国人支援の現場について理解を深める講座を実施した。後半では、外国人にわかりやすい「やさしい日本語」について、より実践的で具体的な内容の講座を開催し、多文化共生のまちづくりに貢献できる人材の育成を図った。	・外国人支援と様々な国の人々をつなぐ 「やさしい日本語」全8回 前半(6/9、6/30、7/21、7/28) のべ69名 後半(8/18、9/1、9/8、9/15) のべ102名	
	開発教育・国際教育セミナー	学校と地域、NPO/NGOなど諸団体との連携で、国際教育の教材と授業の進め方について学びあう機会を教育関係者等に提供する入門編と、「SDGs(持続可能な開発目標)達成をめざす国際協力のために」をテーマに、SDGs(持続可能な開発目標)について学ぶ実践編を開催した。	入門編「開発教育・国際教育セミナー2018」 (8/3:63名)	実践編「SDGs(持続可能な開発目標)達成をめざす国際協力のために」(10/21:42名)
	学校及び各区と連携した青少年国際理解出前講座<拡充>	大阪市内の各学校及び区役所等からの要望により、そのニーズに応じてオリジナル企画を提供し、センター職員のほか、在住外国人や留学生講師による体験型講座や交流会を実施した。	2回: 大阪市立高殿小学校(9/3)、成南中学校(9/12)	11回: ・舍利寺小学校(10/12)、大阪市立成南中学校(10/12)、勝山小学校(10/23)、西三国小学校(10/24)、長池小学校(10/30)など
	国際交流のための日本文化講座・世界文化講座	グローバル人材育成の一環として、自国の文化を学び、理解するための場として、「国際交流のための日本文化講座」を開催した。また、国際交流の本質は、互いの文化、風俗習慣や価値観などの多様性を受容し、違いを認め、理解を深めていくことにあり、広く世界の文化を理解する場として「世界文化講座」も実施した。	ア 国際交流のための日本文化講座 ・和装コース(6/21、28、7/5、7:27名) ・歌舞伎コース(7/2、11、18、21:33名) ・日本茶&和菓子コース(9/7、13、20、29:15名)	ア 国際交流のための日本文化講座 ・日本酒コース(2/7、14、21、23、24:31名) イ 国際交流のための世界文化講座 ・ワイン&チーズ(10/11、13:9名) ・世界の料理(1/24、26:20名)
	インターンシップ制度	国際交流・協力に関心のある大学生等をインターンとして受け入れ、各種業務に従事してもらうことにより将来の国際化を担う人材の育成を図った。	・ECCから受入(9/3、5、6、7、10、11、12、13、10/6、10/20)(8日間) ・大阪成蹊短期大学受入(8/10、11、8/29~31)(5日間) ・近畿大学受入(各35時間×7名)	・ECCから受入(10/6、10/20)(2日間) ・近畿大学受入(各35時間×9名)
	大学等との連携事業	コミュニティ通訳の認証制度を確立するための課題を洗い出しその課題解決に向け、必要なことを議論し、制度確立にむけ実施していく体制を整えることを目的に「コミュニティ通訳にかかわる認証制度」検討委員会を開催した。また、CARES Osakaコンソーシアムへの参画も行った。		・CARES Osakaコンソーシアム参画 ・「コミュニティ通訳にかかわる認証制度」検討委員会(10/5、1/11、3/22)
	中学生のための国際理解・国際協力講座	「国際協力に興味があるが何をしたらいいのかわからない」という中学生を対象に、参加型のワークショップを開催し、国際協力について一緒に考える講座を実施した。		第1回「ソマリーフードー食事を通し、世界の食生活を疑似体験」(2/17:22名) 第2回「いのちの持ち物けんさワークショップ〜難民問題〜」(3/17:21名)
	学校等と連携したグローバル人材育成事業	京都市のノートルダム女学院高校でグローバル英語コースの1年生を対象にプログラムを提供した。また、都島区グローバル人材育成事業、天王寺区グローバル人材育成事業を受託し、小中学生を対象にした英語プログラム、国際理解教育プログラムを両区で実施した。	ア ノートルダム女学院高校 (4/18、5/16、6/6、6/23、9/12) イ 平成30年度都島区グローバル人材育成事業 英語体験活動(8/25:24名)	ア ノートルダム女学院高校(10/24、11/28) イ 平成30年度都島区グローバル人材育成事業 英対話講座(9/15、10/6、10/20、11/10、11/23:12名) ウ 天王寺区グローバル人材育成事業 天王寺区「多文化・国際理解教室」 (10/13、11/18、12/9、1/14) 小学校低学年対象プログラム:のべ200名、 小学校高学年・中学生対象プログラム: のべ157名
	多文化共生社会に向けたコミュニティ人材養成講座	近年外国人居住者や来日外国人の増加に伴い、医療の現場や司法、教育、行政といった様々な分野において、コミュニティ通訳の需要がますます高くなっている。語学に長けているだけでなく、専門分野と多言語多文化にかかわる知識と理解が必要なコミュニティ通訳に従事する人材の育成を目指し、養成基礎講座、スキルレベルチェック、スキル養成講座、専門講座を開催した。	・コミュニティ通訳養成基礎講座 (9/9、9/16、9/22:50名)	・コミュニティ通訳スキルレベルチェック(10/14:8名) ・コミュニティ通訳スキル養成講座 (12/2、9、23、1/20:21名) ・コミュニティ通訳養成専門講座 (2/2、2/9:のべ48名)
	(2) ボランティア育成・活用事業	ボランティアバンク運営<拡充>	市民レベルの自発的な国際交流活動の活性化を図るとともに、大阪を訪れる外国人の日本理解を促進するため、ボランティアを公募し、アイハウス・ボランティアバンクを運営した。また、充実した研修を受けることでボランティア活動の質の向上、積極的な活動へとつなげるため、アイハウス・ボランティアバンク登録者を対象にさまざまな研修会を開催した	・ボランティア研修会: 通訳(6/10:13名)(10/28:12名) 新規活動ボランティア対象(6/23:17名) ホームステイ受入ボランティア対象(4/8:14名、8/26:16名) ・企画運営ボランティア事業: 椅子に座って、お抹茶をいただきます(5/13、6/10)、天王寺七坂めぐり(7/22)、創作折り紙・立体カード(8/5) ・語学スキルチェック(隔月)
KIV-NET(関西国際交流ボランティアネットワーク会議)		国際交流ボランティア活動のネットワーク化を進め、活動をより活性化することを目的に、ボランティアを擁する関西の国際交流団体(65団体)が参加し、意見や情報の交換等を行った。	・運営委員会(4/25) ・総会(6/26)	
日本体験コーディネート事業		韓国のソウル市青少年文化交流センターと香港南区青年団を受け入れ、ホームステイや、日本文化体験、学校訪問などのコーディネートを行った。		香港南区青年団(香港)(12/21) ソウル市立青少年文化センターより中学生の受入(1/13)

# 平成30(2018)年度事業報告

事業項目	事業名	事業の概要	平成30年度 事業実施結果	
(3) 国際交流支援事業	国際交流促進事業共催・支援	大阪における国際交流や国際理解及び多文化共生をの推進を図り、国際化に寄与すると認められる事業のうち、NGO・NPO、市民ボランティア団体、国際交流団体等が実施する事業を共催し、支援を行うとともに後援名義の付与を行った。	ア 共催事業： ・ヤングアメリカンズ・ジャパンツアー2018 in大阪 ・いけばなインターナショナル大阪支部第27回フェスティバル ・欧州留学フェア2018 in大阪 ・国際協力ひろば(セネガル) ・国際ヨガデー2018 in大阪 など9件 イ 後援事業：14件	ア 共催事業： ・国際協力ひろば(チョコレート) ・開発教育・国際教育セミナー 実践編 ・大阪・シカゴ姉妹都市提携45周年記念フォーラム ・大阪・シカゴ姉妹都市提携45周年記念事業 ・2018年Jasso留学生国際交流フェス など8件 イ 後援事業：12件
	開発教育連続セミナー(再掲)	学校と地域、NPO/NGOなど諸団体との連携で、国際教育の教材と授業の進め方について学びあう機会を教育関係者等に提供する入門編と、「SDGs(持続可能な開発目標)達成をめざす国際協力のために」をテーマに、SDGs(持続可能な開発目標)について学ぶ実践編を開催した。	入門編「開発教育・国際教育セミナー2018」(8/3:63名)	実践編「SDGs(持続可能な開発目標)達成をめざす国際協力のために」(10/21:42名)
	国際協力ひろば(再掲)	(独)国際協力機構関西国際センター(JICA関西)との共催で、「国際協力」について広く市民に知ってもらう機会とするため、セネガルで活動する団体からの活動報告及びセネガルの文化紹介、チョコレートを題材にしたワークショップなど、子どもから大人まで気軽に参加してもらえる体験型イベントを実施した。	「テランガの国、セネガル！」(5/27:50人)	「もっと知ろう国際協力」(10/6:20人)
	NPO等とのネットワーク連携事業	大阪府内の外国にルーツを持つ子どもを対象としている団体・組織の情報共有、合同研修の場として「外国にルーツをもつ子ども支援ネットワーク大阪会議」を開催。また、「外国人母子支援ネットワーク形成事業」では、こどもの居場所づくり事業として、「Minamiこども教室」を運営した。また、大阪府下の国際交流協会・団体が連携し、ネットワークを構築する「国際交流協会ネットワークおおさか」にも参画し、日ごろから顔の見える関係を作り、相互支援と双方向の情報交換を行いつつ、勉強会や共催事業を実施した。	ア 外国にルーツをもつ子ども支援ネットワーク大阪会議 事例研究会(4/29、7/31、9/24) こどもひろばボランティア研修(NW教室活動ボランティアも対象)(7/16、9/17) イ 外国人母子支援ネットワーク形成事業 Minamiこども教室 開催(毎週火曜) ウ 国際交流協会ネットワークおおさか ネットワーク会議(4/12、5/31、7/12、9/21)	ア 外国にルーツをもつ子ども支援ネットワーク大阪会議 事例研究会(2/9) こどもひろばボランティア研修(NWボランティアも対象)(10/8) 外国にルーツを持つ高校生交流会(12/27、3/1) イ 外国人母子支援ネットワーク形成事業 Minamiこども教室 開催(毎週火曜) ウ 国際交流協会ネットワークおおさか ネットワーク会議(10/18、11/21、1/19、3/19) 勉強会(12/14)、外国人無料相談会(1/20)、パネルディスカッション(2/8)
<b>4 国際化に資する情報提供事業</b>			<b>上半期の事業実施結果</b>	<b>下半期の事業実施結果</b>
(1) 多様な媒体を活用した情報提供事業	インターネット広報	ホームページ 日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語の4言語で作成し、国際交流に関する様々な情報や、本財団の取り組み等について情報発信を行った。	平成30年度ホームページアクセス数 426,684 件 Facebook「いいね！」 2,739 件 (2019.5.31現在)	
	多言語メールマガジン	国際交流・国際協力に関するイベント情報や外国人住民のための生活情報、季節にまつわる日本文化についての情報をメールマガジンで配信した。 配信言語:5言語(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語(隔週))	メールマガジン登録者数 3,052 名 (日1,742名、英712名、中354名、韓258名、スペ31名)	
	広報誌等の発行	平成29年度の事業報告書として大阪国際交流センターアニュアルレポート(毎年発行)を作成した。		
<b>5 収益事業</b>			<b>上半期の事業実施結果</b>	<b>下半期の事業実施結果</b>
(1) インフォメーションセンターの運営事業	インフォメーションセンター	多文化共生、国際交流・協力、外国人留学生支援等に関する情報・資料を収集・提供し、区役所をはじめとした関係機関等と連携しながら、多言語による相談業務を行った。	インフォメーションセンター年間利用者数:75,446名  インフォメーションカウンター 国際交流活動のための情報や、外国人が大阪で快適に過ごすための情報・相談などを、各言語に精通した本財団職員が主体となり、語学ボランティアの協力を得ながら多言語で提供した。 開設時間:毎日9:00~21:00 対応言語:日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語  ア 海外新聞・雑誌コーナー 海外の新聞・雑誌を配架し、外国人には母国の情報を提供するとともに、日本人には海外の文化や社会を知る機会を提供した。 イ 国際交流情報・図書コーナー 国際交流・協力、多文化共生、留学生支援等に関する情報・図書・映像資料を収集・配架し、来館者に利用の機会を提供した。 ウ インターネット・PCコーナー 多言語によるインターネット利用の提供を行った。 エ 情報資料コーナー 語学留学や日本語教育をはじめ、国際交流に関する営利・非営利団体等によるカタログ類の設置スペースを有料で提供した。 オ 情報交換ボード 個人による語学交流、文化交流、求人情報、住宅、その他に関する情報の交換の場として、掲示板を提供した。 カ 各国大使館・領事館・文化交流センター等PRコーナー 各国情報の提供のため、各国大使館・総領事館・領事館等のPRコーナーを開設し、資料の配架を行った。 キ 外務省プラザ 外務省の紹介や日本と外国の関係、日本の外交政策、海外滞在の心得など、外務省が発行している各種パンフレット、リーフレット等を常時設置(一部閲覧のみ)。 ク アイハウスボランティア「交流スペースS・L」 アイハウスボランティアによる「たのしい日本語」、「プレスクール」、企画運営ボランティアによるイベント開催といった活動の場として、また、事前準備やグループミーティングの場としてもボランティアに提供した。	

# 平成30(2018)年度事業報告

事業項目	事業名	事業の概要	平成30年度 事業実施結果
(1)インフォメーションセンターの運営事業	多言語による外国人のための相談窓口	在住・来阪外国人に対する情報提供機能の充実を図るため、インフォメーションセンターに「外国人のための相談窓口」を開設し、大阪市役所及び区役所における市政相談受付時の電話通訳を実施するとともに、窓口への来訪及び電話による市政・生活に関する各種相談・問合せに対し、情報提供や専門相談機関等の紹介を多言語で行った。 対応言語：日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語	相談件数 2,930件 うち外国人からの相談件数 1,678件 ※ 866件(51.6%)については、大阪市の行政窓口職員との電話通訳支援や行政書士による無料相談での対応を行った。
	外国籍住民のための法律・行政書士相談にかかる通訳・受付等	「法律相談」(大阪弁護士会から弁護士派遣)、「行政書士相談」(行政書士入管手続研究会から行政書士派遣)を月2回開催し、必要に応じて相談時の通訳を提供した。	ア 外国籍住民のための法律相談 平成30年度 相談件数:51件 イ 無料行政書士相談 平成30年度 相談件数:59件